

縦横入力方式

① 中国語のパソコン入力方式は大きく分けて三つある。コード入力方式、ピンイン入力方式、字形入力方式である。コード入力は主に政府や国家機関などで用いられており、一般家庭では常用されていない。ピンイン入力は文字の読み方（ピンインと呼ぶ）によるもので、この読み方さえマスターすれば比較的入力しやすい方法である。ただ欠点はその入力に時間がかかるのと、普通話を使えないものにとってピンインを一から覚えるというのはかなりの苦勞を要する。これらの方式と比べて、以下に説明する字形入力方式は入力が速い上、その規則を覚えるのも比較的短時間で済む。

② 字形コード

縦横入力方式の長所はピンインの規則をマスターする必要がなく、漢字の正方形の形をもとに基礎コードとする。まず、漢字を四つの部位に分け（左上・右上・左下・右下）筆法によって十個の数字に置き換えて入力していく。従って、一つの漢字は多くとも四つの数字によって形成される。

すべての漢字の筆法は十種類に分けられる。その縦横入力には覚え方がある。

一横二縦三点右払い、
四交差五串六正方、
七角右カギ八人九小、
〇左ハネ。

1 は横線または左から右への筆法を表す。



2 は縦線または斜めがかった縦線を表す。



3 は点と右払い、また文字の一番上の点書きを表す。



4 は交差を表し、草かんむりもこれに入る。

十 ㄨ ㄥ ㄨ 十 卅

5 は二つの交差を表す。

ㄨ ㄨ ㄥ ㄨ 卅

6 は四角形、正方形の筆法を表す。

口 口

7 は角のあるもの（片方でも両方でも可）または右カギ・ハネのあるものを表す。

口 口 ㄨ ㄨ ㄥ

8 は八の字を表すもの、または人の字に近いものを表す。

八 八 ㄨ 人 人 ㄥ

9 は小の字に似たもの、りっしんべんを含むものを表す。

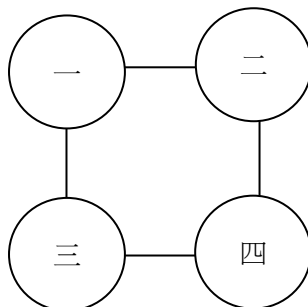
小 小 ㄨ ㄨ ㄥ

0 は全ての左払いの筆法、左カギ・ハネを表す。

ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ ㄥ

たとえこの十種類の字形を忘れたとしても、「縦横入力表」を起動させれば画面でみることができる。

- ③ 縦横入力のコード原則は一番目が左上、二番目が右上、三番目が左下、四番目が右下となっている。



例えば「陝」の字を例にとってみる。一番目のコードは角になっているので7、二番目のコードは交差で4、三番目は縦線で2、四番目は八の字で8となる。

7 4
陝
2 8

しかし全ての漢字が4つで形成されているわけではない。例えば「西」の字は、初めのコードが1であるが、これは同時に二番目のコードともつながっているので自動的に二番目のコードは要らなくなる。この原則を「西」の字の左下・右下に当てはめると正方形になるのでコードは6となり、従って「西」の字は1と6の二つのコードでよい。

1
西
6

縦横入力の便利さはわずかに数字だけを用いて入力した後に「/（スラッシュ）」あるいは「スペースキー」で当てはまる漢字を変換すればよいことである。もし同じコードに属するものが一つ以上あれば、一画面に十個ずつ漢字が表れるのでそこから必要なものを選択すればよい。また、その画面にないものは「+（プラスキー）」と「-（マイナスキー）」で更に検索することができる。もしも大きなキーボードで操作したい場合には、「縦横入力表」をクリックして設定しなおすことができる。

④ フレーズ入力コード

縦横入力ではフレーズ形式で入力することができる。これは中国語の表現形式や習慣とも重なる。英語の「TODAY」を例にとってみるが、これは一つの意味単位であり、入力する時は五つの文字ではなく中国語の「今天」と同じで「今天」を一つのフレーズとして入力する。他の字形をもとにした入力方式では（倉頡・五筆・九方など）連想する文字のみしか表れず、画面に出てきた文字を一つずつ選んで選択しなければならないので、不便であり時間もかかる。

それに対して、縦横入力はフレーズ形式で入力でき、すでに 250000 個以上

のフレーズが収納されているため日常で使うには十分である。入力では一つのフレーズに最大六つのコードまでで、たとえ字数の長いフレーズであってもコード数は変わらない。だから入力の手間も大いに省ける。

⑤ 二字フレーズ

一つの文字につき、三つのコードを読み取ることを「3 + 3」のルールと呼ぶ。これは二つの漢字からなるフレーズでコード数は最大六つ、最小二つとなる。これは文字によって一つのみのもコードもあり六つ以下の場合には確定の作業がある。例えば「一日」というフレーズはコードにすると「1 6」となり「* (米印)」を入力してコード数を決定する。もしコード数が六つであれば「*」は入力する必要はない。上にも述べた通り、最大コード数は六つなのでそれ以上のフレーズは自動的に分別されるからである。

三字フレーズ

一つの文字につき、二つのコードを読み取ることを「2 + 2 + 2」と呼ぶ。これは三つの漢字からなるフレーズでコード数は最大六つ、最小三つである。例えば、「一定会」というフレーズは五つのコード数からなる。「1 3 8 8 7」

四字フレーズ

初めと最後の文字だけ二つのコードを取り、中は一つのコードのみを「2 + 1 + 1 + 2」と呼ぶ。この四字フレーズはコード数最大六つ、最小四つである。例えば「一試就知」の場合、コードは「1 3 8 8 6」となる。

多語フレーズ

どのフレーズでも四つ以上の文字からなっていれば、それは多語フレーズとなる。初めの文字だけコードを二つ読み取って、その後の文字は五番目までコードを一つずつ取る。それ以上の文字は読み取らなくてよい。これを「2 + 1 + 1 + 1 + 1」と呼ぶ。この多語フレーズはコード数最大六つ、最小は五つとなる。例えば「中華人民共和国」の場合、このコードは「5 0 8 7 4」となる。

以上の説明から、もし「中華人民共和国」を一語ずつ分けて入力した場合、「5・0 4 4・8・7 7 7・4 8・0 6 9・6」さらに七回「/」を入力して七回文字を選択しなければならないのだが、上の方法だと五つの数字に「*」を入力さえすればよいのである。

⑥ その他の特徴

縦横入力は相当数の語句を収納しているだけでなく、フレーズを自分で設定することも可能である。例えば、語句に「陝西師範大学国際漢学校」というのが見つからなければ、「縦横入力表」で設定機能の中からこれを語句に設定し、コードもつけることができる。この自動設定フレーズは最大40文字まで可能である。

このほかにも縦横入力には「快速キー」、「万能キー」、「連想キー」などがあり、詳しくは縦横入力カインプット方法を見ていただきたい。

縦横入力方式に関する詳しい内容を調べるには「縦横碼」<http://www.ckcsys.com/> もしくは香港教育学院の「縦横資料科技語文發展中心」<http://www.ckcitlang.net/>、また「縦横碼在線中文字典（1.0 版）」<http://www.ckcitlang.net/ckc/dictionary.php> などがある。

図 1

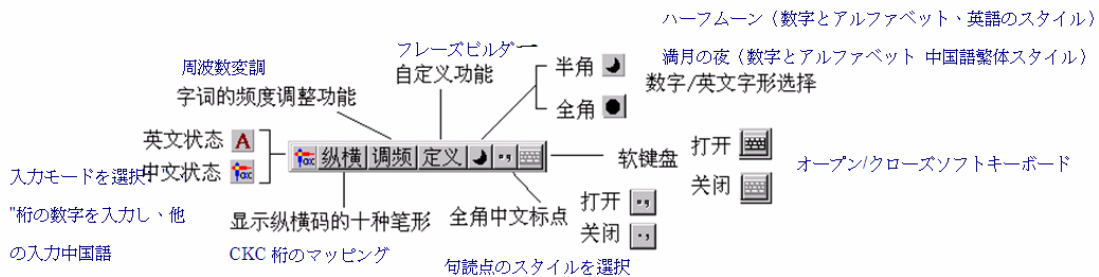


図 2

